

STREET TUNE UP CARS

—さり気ないチューニング、それがチューニングカーの理想だ—

クイックトレーディング・ フィアットX1/9・1500

0~400m 17.77sec
最高速 164.38km/h



■日本のアバルトを目指すこの会社の作品はとにかく美しい。チューニングも奇をてらったところのない素直なものだが、走らないX1/9を国産Gアカー並みのものにしていく。キャブとカムに手を入れ、費用は50~60万円。

HKS・セリカXXターボ

0~400m 15.99sec
最高速 180.67km/h



■ターボに關して、わが國で最も経験の深いHKSのストリート用2500XX。使いやすさをそこなわず、パワーアップ。

クイックトレーディング・ フィアットX1/9・1500

0~400m 17.60sec 最高速 156.36km/h



■赤いX1/9と同様の軽チューニングだが、この車はカムには手を入れておらず、エキゾーストとヴェーバー40φ2連装が主な改良点。その分足回りの改良に力を入れた車で、スポーツサスの採用でただでさえ足の良い車をさらにアップ。

TOM'S・スターレット1300S



0~400m 16.98sec
最高速 152.06km/h

■アルミホイールを除き外観の変更はゼロ。軽チューニングながら0~400mはオリジナルレヒンを大幅にしのぐ。

街乗りと勝つための チューニング

次にチャレンジャーのフェアレディ2000Z改でこれは28.68ccに拡大し、ノックス44の3連装を与えている。このクルマは0~400mを12秒49で走ったが、ファンベルト切れて最高速は記録できなかった。世界に多くの中チューナーが存在するVWヒートルはあらゆるタイプのクルマに改造できる改造ベースNo.1のクルマ。今回はスキヤットが22φハーブジョンを持ちこんだ。0~400m、14秒78、最高速170.41km/hであった。ノーマルと比較して0~400mで10秒近くも短縮している。

街で乗れる範囲内のチューニングアップをストリートチューンといっているが、このタイプのクルマが4台、仕様はHKSのセリカXXターボ。クイックトレーディングのフィアットX1/9が2台、館選手のショップ、トムススターレット(レースカーではない)である。ターボはストリートチューンの常識となりつつあるが、15%の20%のパワーアップを軽くやっのけるし、費用もエンジン内部までいじるレーシングタイプチューニングアップに比べ安い。素敵なスタイリングのフィアットX1/9はワイドリムと上クスの軽いチューニングアップで素